

ROTOBO

Connecting Markets

## ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)3月5日号 No.1984

## 目次

■ 数字で見るロシアの原油生産と輸出	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2025年3月号のご案内	9
■ 統計速報	10
2024年1～12月のロシアの主要経済指標／10	
■ エトセトラ	14
情報提供セミナー「2024年のロシア経済と2025年の展望」／14	
アルメニアワイン・プロモーション in FOODEX Japan 2025のご案内／14	
■ トピックス	14
NZ豪加、ロシアに追加制裁／14	
ジーエフシー、アゼル産キャビアの販売を開始／15	
韓国、対ロ制裁を一部緩和／15	
米ウクライナ首脳会談が決裂／15	
ロシア、駐米大使を任命／15	
ロシア、岩屋外相など日本人9人に入国禁止措置／15	

## 数字で見るロシアの原油生産と輸出

## はじめに

今号では、ロシアの調査会社Tebiz Group発行「ロシアの原油市場分析」から、2023年のロシアの原油の生産・輸出動向を紹介する。ご存知のとおり、ロシアは2022年2月のウクライナ侵攻以降、エネルギー製品の生産や輸出データの公表を制限している。国際機関や各国税関当局が発表するデータとの間に多少の差はあるものの、侵攻の長期化と西側との関係対立がもたらした輸出先の変化など、Tebiz Groupの資料を分析することは、ロシアの石油部門をよりの確にとらえるヒントになるはずである。

## 解説

2023年の1年間にロシアで生産された原油は前年比1.1%増の4億9,807万tとなった。ロシアは2022年2月のウクライナ侵攻に端を発した西側諸国による輸入制限措置以降、中国、インド、トルコなどへの輸出を増やし、生産量の維持と輸出先の確保に努めてきた。2023年の生産量は5億t弱となり、生産・輸出大国としての地位を維持した。

ノヴァク副首相によると、2023年の原油の生産量は5億3,100万tだった。3,000万t以上の誤差の理由は不明であるが、市場環境が一変する中でも、侵攻前の生産水準を堅持することに成功した。